

解 答 速 報



久留米大学 一般選抜前期



- 1.
- (1) ア 2 イ 9 ウ 3 エ 4 オ 3 カ 2 キ 9 ク 2
- (2) ケ 2 コ 1 サ 2 シ 8
- 2.
- (1) ス 1 セ 2 ソ 1 タ 3 チ 9 ツ 2
- (2) テ 1 ト 1 ナ 3 ニ 7
- 3.
- (1) ヌ 1 ネ 3
- (2) (i) ノ 1 ハ 1 ヒ 4 フ 9 ヘ 2
- (ii) ホ 1 マ 7 ミ 1 ム 5 メ 1 モ 5 ヤ 5
- (iii) ャ 4 ャ 9 ラ 2
- 4.
- (1) リ 3 (2) ル 2 レ 4 ロ 2
- (3) ワ 4 ヲ 3 シ 1 あ 5 い 8 う 3 え 3 お 2
- 5.
- (1) か 4 き 1 く 2 け 2 こ 2
- (2) さ 7 し 6 す 3 せ 2 そ 1

～講評～

1.(1)

式の値と相加平均と相乗平均の大小関係を用いる最大最小問題の融合問題。丁寧な誘導がついているので確実に得点したい。

(2)

(1)をヒントに、 $1/x+1/y+1/z$ の値を求められたかが最大のポイント。

2.(1)(2)

垂線の足、直線と平面の交点の位置ベクトルを求める問題。丁寧な誘導があり、また正四面体であることから計算量も少ない。確実に得点したい。

3.(2)(i)(ii)

4次関数の極値を求める問題。割り算を用いて極値を求めるのだが、今年度は杏林大でも同様の出題(極値というわけではなかったが、次数下げを用いて式の値を求めるという意味では同様)があった。しっかり復習していた生徒には有利だったかもしれない。 $g'(x)$ が $x-1$ を因数にもつので、(i)の余りをさらに割ると、極小値を求める計算が少なく済む。

(iii)

3点を通る放物線の方程式を求める問題。連立方程式を解く際に、極小値の条件から求められる2式を組み合わせて係数を簡単な値にしたい。

4.(1)～(3)

場合の数と漸化式の融合問題。問題文は長いがその分問題文を読むだけで漸化式を立てられる。「最初で分ける」問題の経験があったかどうか差になったかもしれない。

5.(1)(2)

本セットで最大の難問。 $y=x$ 上を動く球の断面が軸上を動く球の断面とどこまで重なるのか、重なっていない部分の長さがいくつ、など試験時間内に完答するのは難しいだろう。断面積さえ求めれば積分は簡単。

総じて昨年度より難化している。丁寧な誘導がついているところは確実に得点し、解くべきでない問題はしっかり諦める必要がある。1次ボーダーは50%程度と考えられる。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



<p>渋谷校</p> <p>☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p>名古屋校</p> <p>☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p>大阪校</p> <p>☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3-4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 麹町校</p> <p>TEL : 050-1809-4751 東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p>京都校</p> <p>TEL : 075-746-4985 京都市下京区下諏訪町 360</p>	<p>医学部特訓塾</p> <p>TEL : 03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>